

2020年2月期 第1四半期 決算説明資料

日本の会社を元気にする一番の力へ。



(東証JASDAQ 証券コード3562)

2019年7月11日

1. 2020年2月期 第1四半期決算ハイライト P 3
2. 第1四半期サマリー P 6
3. 2020年2月期の業績予想 P 13
4. 会社概要、沿革 P 17

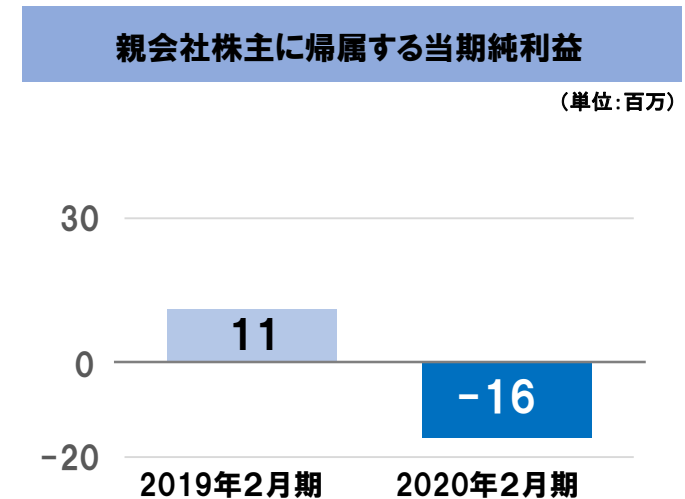
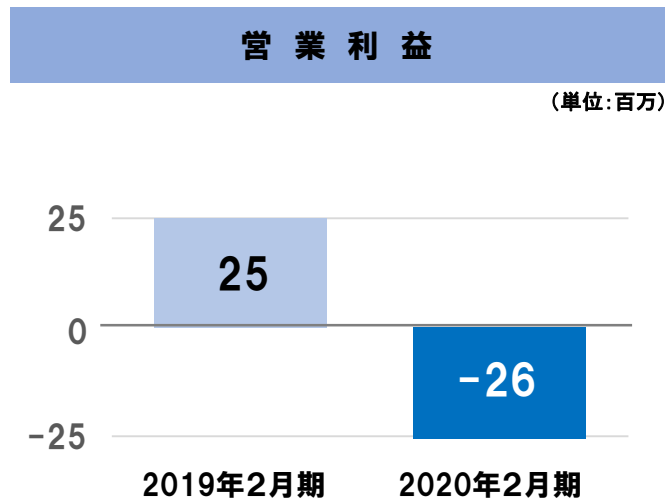
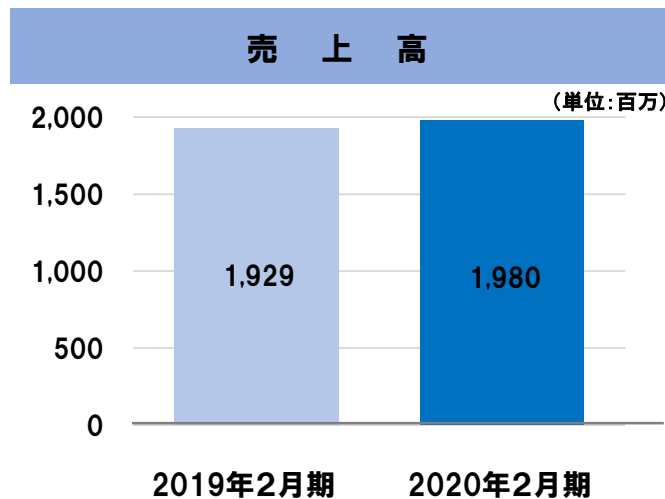
1. 2020年2月期 第1四半期決算ハイライト

2020年2月期 第1四半期 連結損益計算書の推移

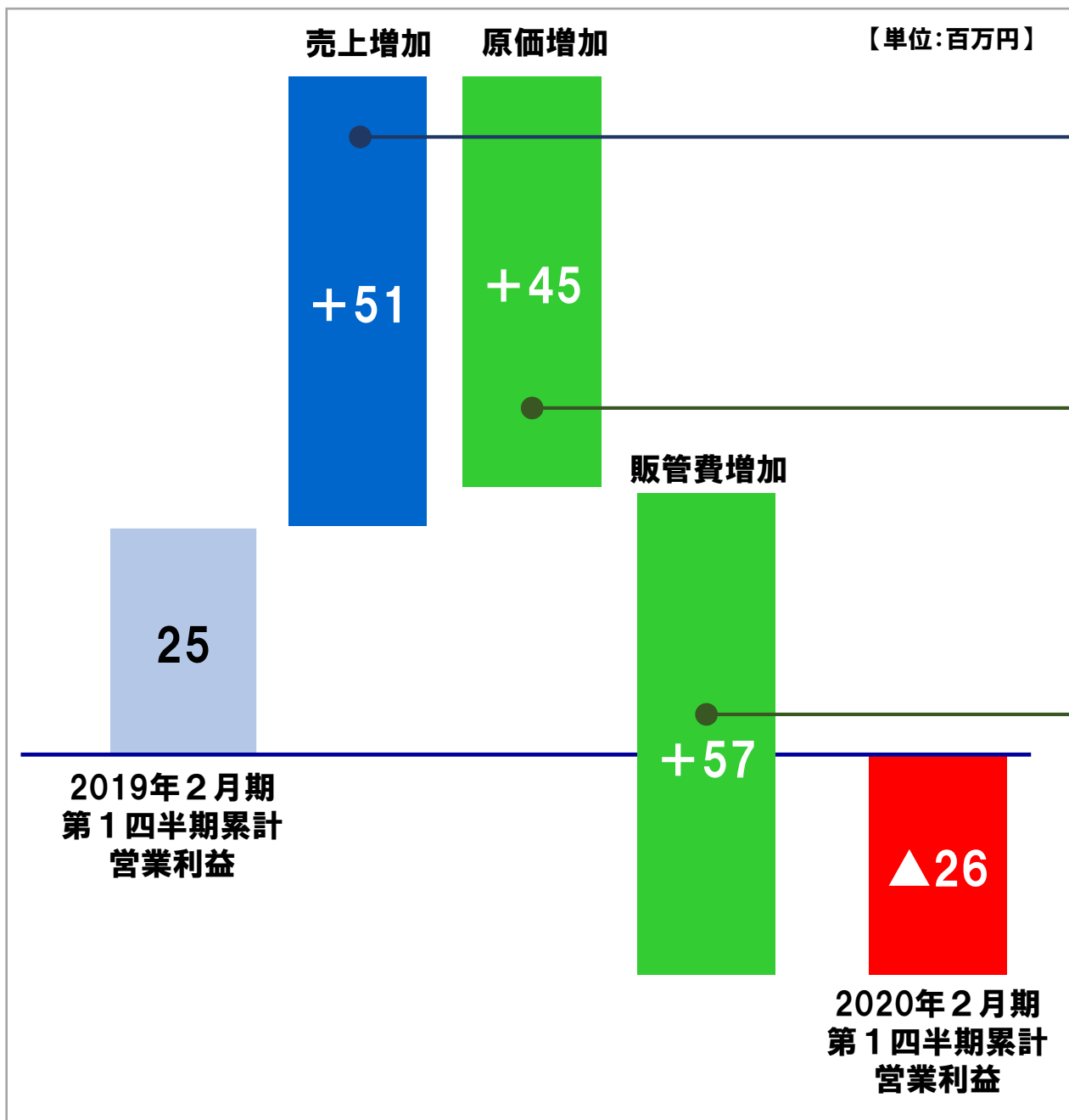
売上高は増加したものの営業部門の一時的なヒューマンリソース減少による生産性の低下により売上総利益率が低下。営業支援システムや人員拡充の為の先行投資により、販管費が増加し、営業利益以下の利益がマイナスとなった。

【単位:百万円】

[連結損益計算書]	2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	(%)
売上高	1,929	1,980	51	2.6%
売上総利益	749	755	6	0.8%
営業利益	25	▲26	▲51	—
経常利益	19	▲22	▲41	—
親会社株主に帰属する当期純利益	11	▲16	▲27	—



第1四半期の営業利益増減要因



●売上増加要因

- OA関連商品及び情報セキュリティ商品販売は堅調に推移
- 代理店販路における販売台数が堅調に推移

●売上総利益率減少要因

- 生産性の低下(営業の第一線に配属していた経験豊富なメンバーをプロジェクトチームに配属)

●販管費増加要因

- 営業支援システム投資
- 人員の拡充投資(積極的な採用の実施)
- 人員定着による固定費の増加

2. 第1四半期サマリー

第1四半期の注力戦略

中期成長戦略の4つの基本戦略の中でも第1四半期は人材戦略に注力。

① 販売戦略

- ・営業とサポートの組織を統合
- ・地域密着の強化

② 人材戦略

システム投資を通じた生産性の向上

注力戦略

③ 商品戦略

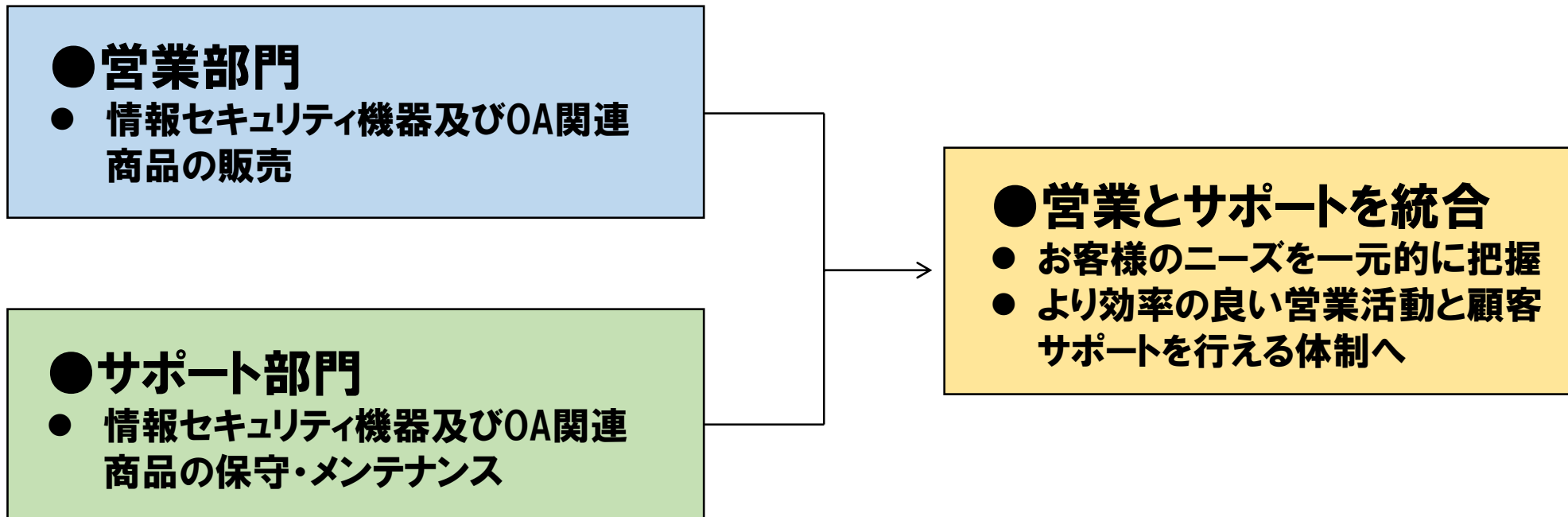
顧客課題を解決する商品の企画

④ チャネル戦略

M&A・アライアンス手法の継続的な強化

① 販売戦略の施策

1. 組織変更実施



2. システム導入に向けたヒューマンリソースを強化

- 新卒採用、中途採用共に積極的な採用を実施
- 研修プログラムの更なる充実

②人材戦略の施策

「生産性向上」のため営業支援システム投資を実施。

期名	展開	投資レベル	生産性レベル
第1四半期	営業支援システム投資	大	小
	<ul style="list-style-type: none">● SFAシステムの構築● 営業の第一線に配属していた経験豊富なメンバーをプロジェクトチームに配属		
第2四半期	SFAシステムの運用開始	中	中
第3四半期～	営業支援システムの運用により生産性向上に寄与を見込む。	小	大

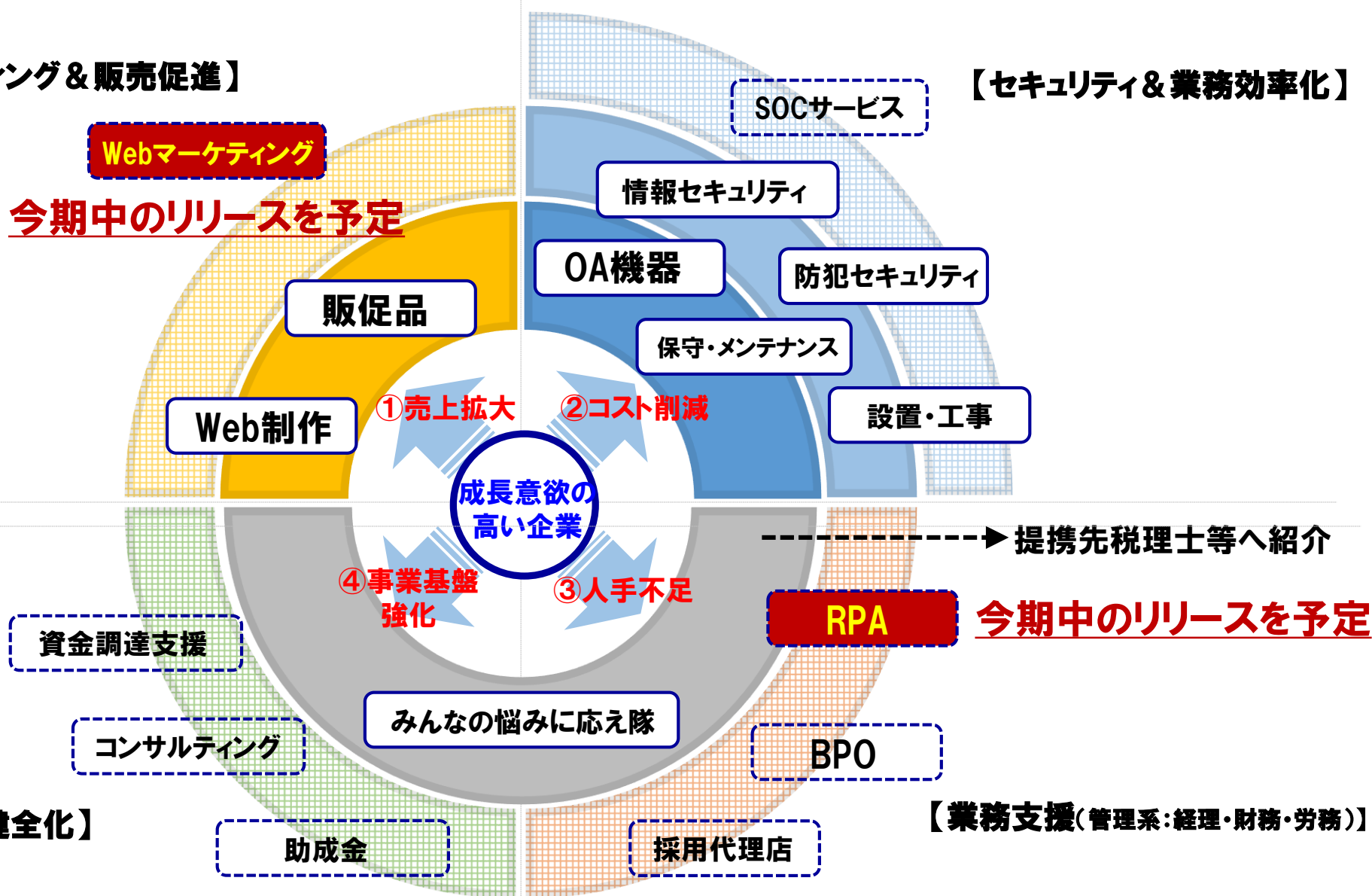
※1 SFA・・・ Sales Force Automationの略で営業支援システムのことです。

③商品戦略の施策

顧客の悩みに適した商品・サービスを拡充し、ニーズを深掘していく。

【Webマーケティング&販売促進】

【セキュリティ&業務効率化】



顧客の課題に応じた事業領域を拡大中

④-1. チャネル戦略と第1四半期の進捗

代理店販路は、堅調に推移。

	2019年2月期 第1四半期	2020年2月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	(%)
販売セット数(セット)	223	261	38	17%
売上高(百万円)	113	135	22	19%

販売セット数 前年同期比17%増、売上高 前年同期比19%増。

④-2. チャネル戦略と第1四半期の進捗

販売チャネルが拡大。

- 2019年5月に株式会社光通信との業務提携により合併会社を設立
(5月29日適時開示)

社 名:株式会社No. 1パートナー

代 表 者:熊野友裕

事業内容:Webマーケティングを活用した各種情報通信端末の販売

資 本 金:20百万円(出資比率 当社65%、株式会社光通信35%)

3. 2020年2月期の業績予想

2020年2月期の業績予想

売上高及び各利益ともに増収増益を予想しております。

[2020年2月期通期予想]

【単位:百万円】

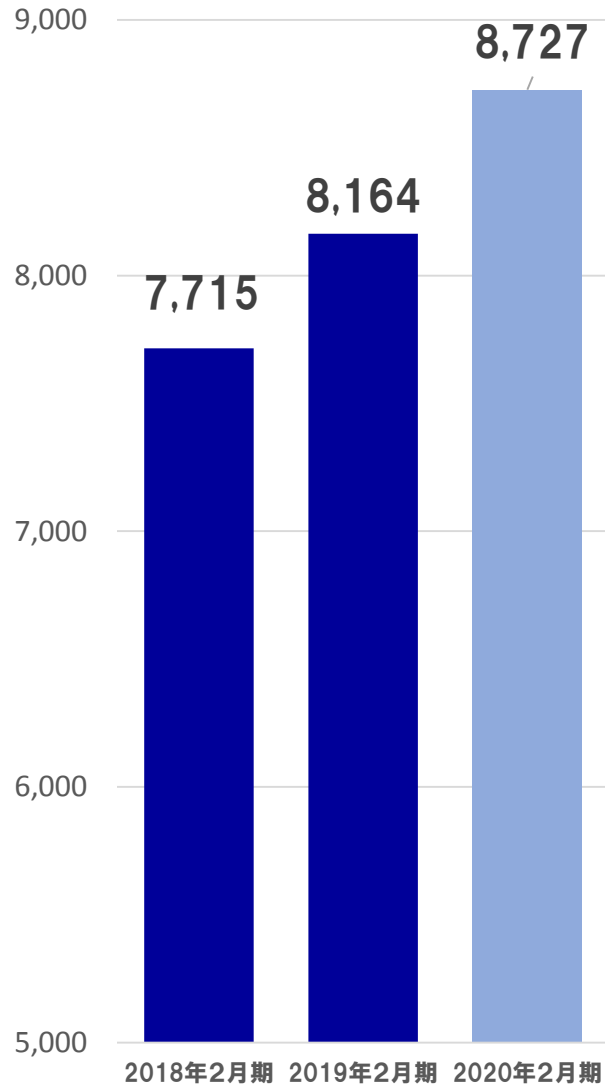
	2019年2月期 (実績)		2020年2月期 (予想)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
売上高	8,164	—	8,727	—	563	6.9
営業利益	330	4.0	350	4.0	20	6.1
経常利益	323	4.0	354	4.1	31	9.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	2.7	233	2.7	15	6.9

連結業績予想につきましては、2019年4月12日の「2019年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2020年2月期の業績予想

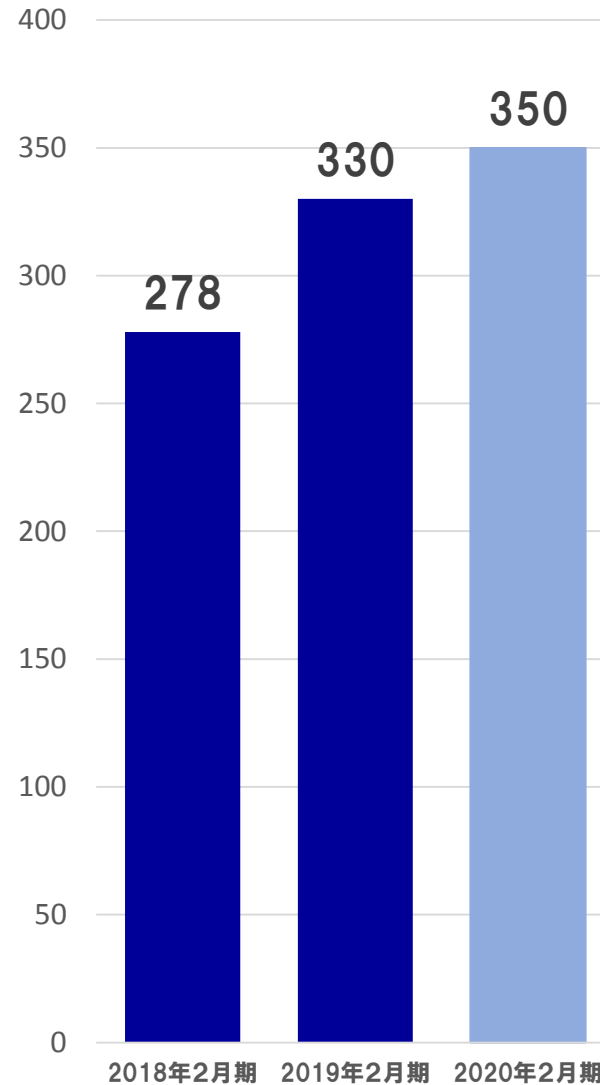
売上高

(単位:百万)



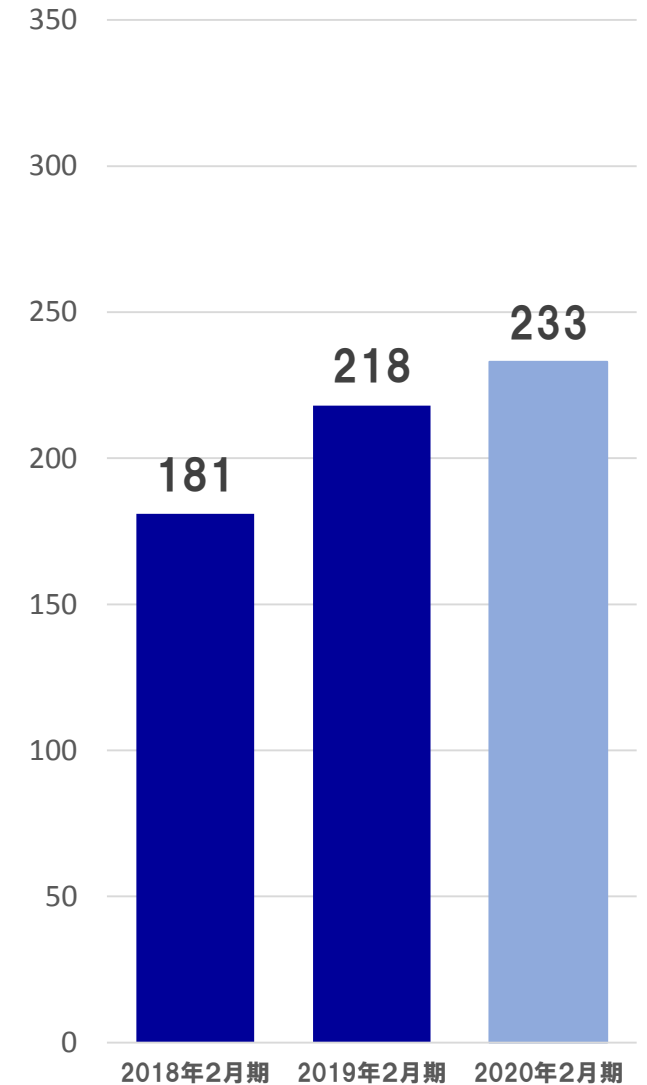
営業利益

(単位:百万)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万)



2020年2月期 株主還元

配当

1株あたりの年間配当金予想:20円
(対前年度比:+5円の増配)

自己株式取得

取得価格:82百万円(上限)

取得株数:95,000株(上限)
(発行済株式総数に対する割合:3.04%)

取得期間:2019年4月13日~2020年2月20日

4. 会社概要、沿革

会社概要

会社名	株式会社 No. 1
所在地	東京都千代田区内幸町1丁目5番2号
設立年月日	1989年9月27日
代表者	代表取締役社長 辰巳崇之
従業員数	432名(2019年2月末)
決算月	2月
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・自社企画商品である情報セキュリティ機器の販売及び保守・OA関連商品の販売及び保守・メンテナンス
連結子会社	株式会社オフィスアルファ(出資比率100%) 事業内容:中古MFP等の販売及び保守 設立:2012年11月1日
	株式会社Club One Systems(出資比率100%) 事業内容:情報セキュリティ機器の販売及び保守 設立:2013年5月31日
	株式会社No. 1パートナー(出資比率65%) 事業内容:Webマーケティングを活用した各種情報通信端末の販売 設立:2019年4月15日

沿革

2008年12月、代表交代により
新経営体制がスタート。
第二創業期として、
変革による成長スピードを加速。

新代表取締役社長に
辰巳崇之が就任。

東証JASDAQ 上場

2017年
3月

2013年
8月

◆Webサイト制作開始

2012年
8月

◆自社企画商品販売開始

2011年
11月

◆役務ソリューションサービス開始

2008年
12月

2004年
3月

◆合併・社名変更(株No.1)

◆OA機器保守・メンテナンス開始

1994年
2月

◆OA機器販売開始

1993年
6月

1989年
9月

◆会社設立 (株ジェー・ビー・エム)

第一創業期

第二創業期(変革期)

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業外ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社No. 1

お問合せ先：経営管理本部 経営企画室 keieikikaku@number-1.co.jp

日本の会社を元気にする一番の力へ。



株式会社 No.1